ご あ ん な い

平成26年度　総会

●日時・場所／**5月24日㈯**

　＊**記念講演（無料）**　午後 1時 = 母校視聴覚室

　　講師　稲垣　博氏（昭和42年・D科卒）

　　演題「人を中心とした空間デザインの発想」

　　◎在校生の出席を歓迎します。

　＊**総会・懇親会**　講演後＝視聴覚室・会議室

●会　費／**3,000円**（なるべく同封振替用紙でご送金をお願いします）

◆ご出席の方は、同封のハガキに必要事項をご記入のうえ、
必ず**5月4日**までに投函をお願いします。

こうげい

誠実　元気
信愛　規律

＊記念講演　講師紹介

稲垣　博さんは36年間の乃村工藝社にご勤務の後に、首都大学東京で６年間教鞭をとられました。空間デザイナーとしてコミュニケーションをベースとした公共的な展示空間づくりを進めてこられ、その後の首都大学東京システムデザイン学部インダストリアルアートコースでは、人を中心とした空間の体験性を軸に教育者として指導にあたってこられました。

最先端の人と情報をむすぶメディアとしての空間デザインの魅力を、アジアからの留学生を含めた学生達に教育されてきた、稲垣さんのご講演にご期待下さい。

科博系統広場（国立科学博物館）

大地を駆ける生命（国立科学博物館）

事務局より

◎一般寄付・ご芳名

昨年12月5日以降、本年3月4日現在、ご芳志をお寄せいただいた方々は次の通りです。どうも有難うございました。（順不同・敬称略）

長壁　洋、渡邉昇平、日置雄毅、橘正春、川津敬介、村上繁、福田重信、天野昭二、山下泰宏、鈴木輝彦、鈴木晥司、鈴木季晴、牧野昇、安室典忠、佐藤勇、清水健敬、勝矢重利、小野木裕、石川孝史、丸山士郎、渡邊清二郎、渡辺一孝、田中榮一、関根伸司、青木光義、小川衛、石井清一、村奈嘉義雄、鷹木雄一、亀井格一、久保木秋徳、菅谷文夫、佐野一義、田代智隆、江連仁人、髙橋則弘、服部功、井戸健輔

平成25年度累計　四八一、五〇〇円

◆平成25年度第3回理事会報告

平成26年2月12日午後6時から母校会議室において、平成25年度第3回理事会（総会準備理事会）が開催され、出席した28名の理事により、次の審議、決定が行われました。

1．平成26年度総会（5月24日㈯）の準備について

(1)　記念講演会・講師について

①　講師の候補に、昭和42年D科卒の稲垣　博氏が推薦され、出席理事全員の賛成により、稲垣氏に依頼することが決定された。

②　講演会は参加無料とし、在校生の出席も歓迎することとする。

(2)　総会の動員について

4月発行の会報に講演会・総会・懇親会の出欠返信ハガキを同封し、会員の出席を喚起する。5月連休明けに、参加者数を把握する。

(3)　会費について

前回同等の３０００円とする。

(4)　総会準備責任者

A科：神山　隆夫
M科：細江　邦雄
F＝I科：岡田　里美
P＝G科：石原　義久
D科：梶　広幸

2．その他

(1)　２０１７年に１１０周年となることが確認された。

(2)　D科の新理事に昭和51年卒・佐藤秀男氏が推薦され、承認された。

●母校　卒業式

平成26年3月14日㈮10時より東京都教職員研修センター視聴覚ホールにおいて、平成25年度卒業式が行われました。

今年度の卒業生は、全日制：１７６名、定時制：82名で、合計２５８名が卒業しました。

卒業生の皆様、本当におめでとうございます。また、熱心にご指導下さった先生方、生徒を見守ってくださったご父兄の皆様、ありがとうございました。

●今年度の（卒業生）皆勤メダル受賞者

〈金メダル〉

全日制　3年間皆勤：26名
定時制　4年間皆勤：12名

〈銀メダル〉

全日制　1年間皆勤：24名
定時制　1年間皆勤：14名

ものづくり（木工芸）への想い

林　哲三（昭和37・F卒）

都立工芸高校の木材工芸科で木に関わってから、この道一筋、はや55年経ってしまいました。その間に日本伝統工芸展へ出品し、昨年の「黒柿赤漆四方箱」の作品で49回になります。自分ながらもよく続いたと思っています。第34回展には「東京都知事賞」受賞の栄に浴しその後同展の鑑査委員を２度させて頂き、真にこの上ない名誉なことです。

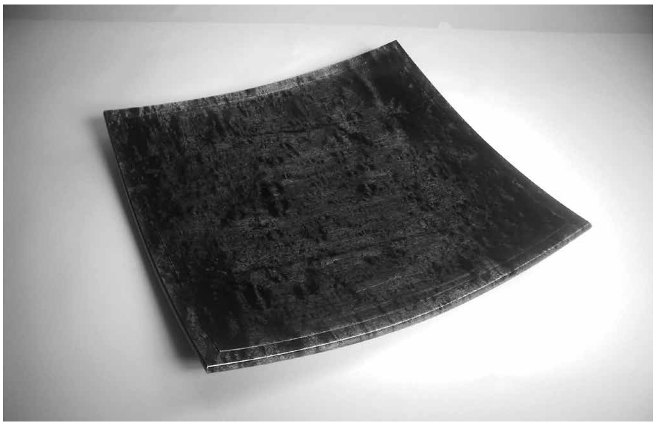
第14回伝統工芸木竹展　花梨拭漆平鉢

第60回日本伝統工芸展　黒柿赤漆四方箱

私に、ものづくり（木工芸）の意味を深く考えることを与えてくれた時期がありました。

昭和62年から17年間、旧国立高岡短期大学で木工芸の実技を学生に教える機会を得ました。このことは自分自身もきちっとしたものづくりの考え方なり知識なりを持っていなければならないということです。

そこで先人の方々の「ものづくりの心得」や木材の工学的知識、「工芸と工学」さらに仕事の中で経験した木の扱い方や木工技法等を学生に教える傍ら、自らも「工芸とは何か」とか、ものづくりの基本など真剣に勉強しました。その結果、木工制作の３つの要素なるもの、素材としての「木材」をよく知る、形づくる「技」をしっかり身に付けそして使いみち「用途」を考える、この３つの要素がうまく同心円上に重なったところに良い作品が生まれるのではないかと考えました。しかし「用途」を考えるときその基本は何か、たとえば使い勝手の良さ、形の美しさなどと思いますが、しかしそれよりもさらに深く考慮しなければならない基本があるのではないかということが、いつも胸の奥にありました。その痞えが或るときスッキリとなくなる出来事がありました。それは２０１１年３月11日の東日本大震災が起きた時、その後のテレビのコマーシャルに「あなたの〈こころ〉はどんな形ですかと…」という言葉と映像を見ました。その瞬間、私心に衝撃が走りました。そしてこの言葉の全文が知りたいとインターネットで検索し見つけました。それが次の詩です。



第57回日本伝統工芸展　楓赤漆四方皿

行為の意味

あなたの〈こころ〉はどんな形ですかと　ひとに聞かれても答えようがない自分にも他人にも〈こころ〉は見えないけれど　ほんとうに見えないのであろうか確かに〈こころ〉はだれにも見えないけれど〈こころづかい〉は見えるのだ　それは　人に対する積極的な行為だから同じように胸の中の〈思い〉は見えないけれど〈思いやり〉はだれにでも見えるそれも人に対する積極的な行為なのだからあたたかい心が　あたたかい行為になりやさしい思いが　やさしい行為になるとき〈心〉も〈思い〉も　初めて美しく生きるそれは　人が人として生きることだ

宮澤章二詩集　行為の意味
青春前期のきみたちに　より

この詩の内容は人のすべての行為に共通するものと思います。これをものづくりに当てはめてみると、デザインの原点も、目に見えないこころや思いを具体的な形にする作業であり、〈こころづかい〉や〈思いやり〉というものをよく考えてデザイン、制作することが工芸を仕事とする者の使命であると思います。そして工芸の真髄ではないかと思います。

「投稿を歓迎します。」

＊皆様の個展、出品、受賞、クラス会等の様子をお知らせ下さい。
郵送先：築地工芸会（工芸高校の住所）
メール送付先：taquya@nifty.com

追想　津久井先生逝って2年
三回忌に想う

福本　晴男（昭和35・F卒）

東京芝、天陽院での津久井先生の通夜は、東日本大震災1年目を前にして、大寒も重なって参列の工芸の方々は、深い悲しみに凍りついていました。

私は長いこと会報のカットのお手伝いをしたことをはじめとして、いろいろお世話になったこともあり、お通夜から4日後の茶毘に伺う機をいただきました。先生の最晩年は、腎臓癌発症、大腿骨折、癌転移と凄まじい闘病生活となりましたが、棺の中の先生は、穏やかな顔をされていたことを思い出します。三回忌、平成26年2月1日　合掌。

今は、荒井事務局のご努力で同窓会に新しい気運が流れ始めたことは、津久井先生もほっとされていると思います。

それにしても、なぜ津久井先生は工芸会に事務局として50年も尽くされたのでしょうか。

百周年記念祝賀会会場で、賑う歓談の中、檀上で杖を突かれた先生がお話になられたことは、「私が50年も事務局をやったことは、在職時、当時の石引校長さんから、戦後の工芸同窓会を何とか立て直してほしいと頼まれたからです。」ということでした。それは私が入学した戦後10年目頃の話だろうと思います。戦時という非常、異常な事態を通り抜け、国中がガサッとして戸惑いいつつの復興期でした。

当時、全国でも数少ない物づくりの原点、美芸に至る技能習得校、都内はもとより全国から俊才が集まる名門校、定時制の苦学生も満杯で夜も校舎の窓が輝き活気がありました。そんな苦学生たちを先生は大勢応援していました。

同窓会事務局長としては、昭和47年頃に持ち上がった校舎多摩移転の際には、水道橋校舎に止める署名運動を展開したり、その他同窓会名簿の作成、会報の発行、奥様共々の作業だった会報の発送など長年にわたり続けられていらっしゃいました。

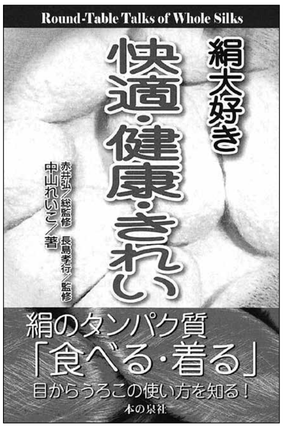
また、新校舎落成時、卒業生作品の展示場所の要望、確保、講演会企画、卒業生の活躍を見て歩いてはそれを会報に紹介、関西工芸会、中京工芸会と休みのない交友の絆づくり。工芸高校が大好きな卒業生であり、校歌のごとく「誠実　元気　信愛　規律」のとおり生きられた先生だったと思います。

今後は、前にも会報に書きましたが、収集された卒業生の作品の寄贈、返却の確認、保存、展示棚の活用運営がスムーズに行われることを願うところです。

●校友の活躍

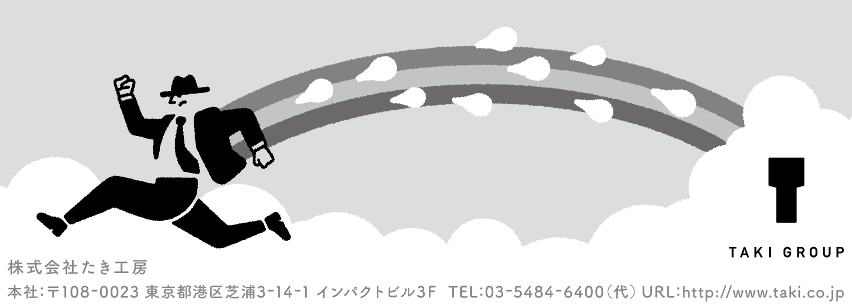
◎出版

中山れいこ氏（昭和41・D卒）



株式会社 マツキ
各種金型設計製作
（プラスチック・ダイカスト・プレスおよび成形）
代表取締役社長　鈴木　崇嗣
〒132-0031　東京都江戸川区松島2-1-7
電話 03-3656-5766　FAX 03-3656-5675

宝石・石止全般
株式会社タカギ彫金工芸
代表取締役
高　木　　実
（A・48卒）
〒111-0054 台東区鳥越 1-23-5
電話(03)3866-0961(代)

広告制作会社 たきグループ　　グループ創業者 滝澤方美 D3（昭29）
(株)たき工房　(株)たきホールディングス　(株)日本コマーシャルフォト　(株)ブラン
(株)ワークアップたき　(株)Odds Design　(株)インパクトたき　(株)たきC1　(株)タクト


株式会社たき工房
本社:〒108-0023 東京都港区芝浦3-14-1 インパクトビル3F　TEL:03-5484-6400(代) URL:http://www.taki.co.jp

ic用各種タイバーカッター
各種専用機　設計製作
(有)神戸自動機製作所
代表取締役　神　戸　道　夫
定M13（昭36）
〒270-0156　千葉県流山市西平井1031-7
TEL.0471-59-6201　FAX.0471-59-5127

支部だより

●中京工芸会節分会開催

恒例になりました「中京工芸会節分会」を、2月3日(月)17時30分～名古屋料亭「大森」にて開催しました。「女将」「若女将」が変装する時期に合わせ、役員会を兼ねて開催しています。今年秋の第51回総会を左記により開催することを確認しました。

日時：10月19日(日)13時～

場所：名古屋料亭「大森」

会員の方には別途案内をお送りしますが、今直ぐ、予定に入れて頂きたいと思います。

中京工芸会が続けられることは会員の皆さんが出席して頂くことです。

中京工芸会副会長
五反田　稔（昭和35・M卒）

中京工芸会節分会

校友の活躍

次の方々の出品等がありました。

◎個展

片岡　浩の世界展（元・A科教員）
銀座・ギャラリーおかりや

◎出品

第54回東日本伝統工芸展
日本橋三越本店　新館7階ギャラリー

・染織

松原　忠氏（昭和57・M卒）
長板中形着尺「亀甲に桐の葉文」

松原　伸生氏（昭和59・D卒）
長板中形着尺霞入変わり網目文

・金工

桂　盛仁氏（昭和39・A卒）
人間国宝
雀紋中次

大沼　千尋氏（昭和45・A卒）
切嵌の壺「游」

・木竹工

須田　賢司氏（昭和48・F卒）
楓拭漆箱

東京の伝統工芸
「江戸木彫刻」の天野輝義さん

（昭和35・F卒）

天野輝義さんは、江戸期から続く神社仏閣などの彫刻家で「彫正五世」を名乗られ、現在東京都認定伝統工芸士として活躍されています。

「第26回木彫工藝展」に出品された作品「額　巻き龍」を紹介します。

「額　巻き龍」

訃報

前回の会報160号以後、本会宛正式にご連絡がありました方々は、次の皆様です。ご冥福をお祈り申しあげます。

（　）内は逝去された日です。

久保　嘉男氏　旧理科教員（25・10・13）
穂積　敏夫氏　昭14・M卒（25・11・8）
岩沢善三郎氏　昭15・M卒（23・11・5）
銭谷栄太郎氏　昭16・M卒（25・12・10）
石川　進氏　昭17・P卒（25・11・1）
杉田　兼一氏　昭18・M卒（25・11・28）
宮島　敏安氏　昭20・M卒（22・7・11）
松浦　敏夫氏　昭21・M卒（26・1・21）
遠藤　武雄氏　昭25・A卒（25・11・22）
松本　忠氏　昭25・A卒（25・12・14）
青山　神雄氏　昭37・M卒（25・12）
鈴木　輝彦氏　昭41・M卒（26・3・27）

プラスチック
金型製作
真空成形型　圧空成形型
プレス抜型　トムソン抜型
企画
デザイン ― 試作 ― 本型製作 ― 成形立上げ
V. MOLD バキュームモールド工業株式会社
本社・〒131-0031東京都墨田区墨田5-23-11
tel 03(3614)1556　fax 03(3614)1559
埼玉工場・〒340-0831埼玉県八潮市南後谷107-5
tel 048(932)5440　fax 048(932)3960
－詳しくはホームページで－
http://www.vmold.co.jp/
e-mail
caduser@vmold.co.jp

I.F.パートナーズ特許事務所
弁理士　中山　清
（昭33年M科）
〒101-0064
東京都千代田区猿楽町2-8-16
平田ビル8階
電話　03-5577-3025
FAX　03-5577-3027
Email　nakayama@ifpat.gr.jp

クラス会

●東芝万年会　平成25年度総会開催

平成25年11月20日(水)に上野不忍の池のほとりの鰻割烹「伊豆栄」にて東芝万年会の総会を開催致しました。今回は10名のご参加をいただきました。当日は上野駅に集合し、久しぶりに黄葉の美しい上野公園を散策、西郷さんの前で集合写真を撮り、「伊豆栄」に向かいました。

実は、今年度総会幹事会ではお元気だった穂積幹事長が総会を開催する直前に急逝されました。関係者相談の上、穂積さんのご意志を尊重し、先輩を偲びながら総会は予定通りに行う事と致しました。

長きにわたり東芝万年会の要としていらした穂積さんとお別れするのは誠に残念です。ご冥福をお祈りいたします。

総会では参加者の近況やトピックスなどで盛り上がりました。また、東芝万年会の今後について話し合い、継続していこうということになりました。

いつもの東芝万年会とは趣が異なりましたが、晩秋の1日を楽しみました。

来年も元気に再会することを約束して帰途につきました。

（幹事　昭和38・D卒　松本　孝）

東芝万年会　平成25年度総会

●昭和29年定時制M科卒　クラス会

歳の瀬もつまった12月12日、小石川後楽園涵徳亭で級友12名プラス援軍奥様3名の忘年クラス会を開催。明年（平成26年）傘寿を迎えることを誓い合いました。

（田嶋　照郎）

昭和29年定時制M科卒　クラス会

●昭和32年全日制M科卒　クラス会

〝57年ぶり〟のクラス会を平成26年3月10日、銀座ライオンにて開催しました。15名のクラスメートに出席いただきました。席についたものの、初めは誰が誰だか判りませんでした。用意した名札を付けていただき、少しずつ高校時代のイメージが湧いてきました。雑談会もあっと言う間に時間が経って、半世紀ぶりの懐かしさがこみ上げて参りました。

新校舎の案内をしていただき、その素晴らしさにびっくりしました。伝統校にふさわしい設備の数々でした。

会場で〝久保先生、村上先生〟の写真を配布させていただき、皆さん感慨も新たに写真に見入っていました。最後に校歌を歌い、再会を約して散会しました。

（土井　常睦）

昭和32年全日制M科卒クラス会

●平成6年定時制I科卒　クラス会

2月16日(日)横浜中華街。

前日の大雪の影響も心配されましたが、今年は卒業20周年の節目にて参加人数も上々でした。

担任の小澤先生と理科の砂岡先生がご出席くださり、皆、感激していました。

卒業後も飲み会や工芸祭見学を通じて絆を深めております。

もし、この写真を見て懐かしいと思いましたら、左記アドレスまでご連絡ください。同期生、先生方、先輩、後輩の皆様のご連絡をお待ちいたしております。

Kogei.tei.f46@gmail.com

（コアクツ／小圷寛之）

平成6年定時制I科卒クラス会

母校だより1

コンクール等の入賞者・成績

全日制

ART CRAFT

●マール社　衣装デザインコンテスト
佳作　2年　小島真珠

●第11回JTOジュエリーデザインコンテスト
奨励賞　3年　田原咲

●基礎製図検定　2年　28名合格

●ガス溶接技能講習　2年　25名合格

●実用英語検定試験
1級　1年1名合格
2級　3年1名合格
準2級　2年1名、1年1名合格

●リスニング英語検定試験
2級　2年1名合格
3級　1年1名合格

MACHINE CRAFT

●全国製図コンクール
最優秀　2年　齋藤芙佳
優秀　2年　伊志嶺光、永田優美
佳作　2年　香取輝、川上美衣那、木下祐希

●ジュニアマイスターゴールド
3年　熱田菜摘、池田佳奈芽、小谷拳乙、今野和紀、横沢厚美
2年　小川貴寛、齊藤芙佳、越智拓郎

●ジュニアマイスターシルバー
3年　青木啓斗、高野真陽、松尾悠生、横沢厚美
2年　飯塚和海、宮下杏、片倉圭太、小池吾郎、原綾乃

●色彩検定　2級　1名合格

●危険物取扱者乙種　41名合格

●基礎機械製図検定
1年　32名合格
2年　32名合格

●計算技術検定
1級　8名合格
3級　28名合格

●ガス溶接技能講習会　32名合格

●アーク溶接特別講習　10名合格

INTERIOR

●住まいのインテリアコーディネーションコンテスト　高校生部門
奨励賞　2年　橋本多門、菊間彩日

●色彩検定　3級　13名合格

●インテリアコーディネーター資格試験
2次試験　3年　2名合格

●第31回福祉住環境コーディネーター検定　3級　2年　7名合格

GRAPHIC ARTS

●警視庁非行防止啓発ポスター　高校生の部
最優秀賞　3年　近藤歩
優秀賞　3年　氣田愛美、笹川あかり

●環境省近隣騒音防止ポスターデザイン
優秀賞　3年　岸本隆太郎

●工芸高校クリアファイル
採用　3年　栗原紫乃、氣田愛美

●全国学芸サイエンスコンクール　ポスター部門
旺文社赤尾好夫記念賞（入選）
3年　金山友梨香

●色彩検定
2級　2年　1名合格
3級　1年　1名合格

●グラフィックデザイン検定
1級　2年　山口和子、吉葉美桜
準1級　2年　山内ありあ
2級　2年　クラス全員合格
3級　1年　クラス全員合格

DESIGN

●文京アカデミー　区民参加オペラ「プッチーニ／歌劇ラ・ボエーム」
パンフレット原画作成
3年　芳中早百合

●第5回高校生アートライター大賞
優秀賞　2年　大越梓

●城西国際大学　空飛ぶクジラ大賞
全国高等学校絵本コンテスト
優秀賞　3年　石居沙良

●拓殖大学工学部オレンジカップ2012アイデアコンテスト
優秀賞　3年　大谷紬

拓殖大学工学部オレンジカップ2013アイデアコンテスト
優秀賞　3年　吉岡美樹

拓殖大学工学部オレンジカップ2014アイデアコンテスト
入選　3年　小川聖也

●かわさき産業デザインコンペ　高校生部門
最優秀賞　3年　三ツ井結子
優秀賞　3年　我妻泉香、芳中早百合
入賞　2年　寺戸千晴
奨励賞　3年　末廣奈々美
審査委員賞　3年　伊藤彩歌、水野絵莉

●第41回　関東地区工業高等学校研究協議会　東京大会
冊子表紙　3年　小川聖也

●第96回全国高校野球選手権大会　ポスター用原画コンクール
ブロンズ賞　3年　末廣奈々美

●色彩検定
2級　2・3年12名合格
3級　2年　1名合格

定時制

●H25年度明るい選挙ポスターコンクール
文京区佳作　3年Ⅰ　及川弘貴
1年G　遠藤未来

●計算技術検定
2級　1名合格
3級　18名合格

母校だより2

●**基礎製図検定**　12名合格
●**機械製図検定**　1名合格
●**パソコン利用技術検定**
3級　4名合格
●**ガス溶接技能講習修了**　6名合格
●**アーク溶接特別教育修了**　5名合格

＊紙面の制約から、検定合格者の氏名、部活動報告は割愛させていただきました。

母校人事

平成26年度を迎え、4月1日付で次の人事異動がありました。

退職、転任された先生方には熱心に後輩のご指導を頂き、本当に有難うございました。事務部門の先生方には本会の運営面でも大変お世話になり感謝しております。

就任された先生方、後輩のご指導と、同窓会をよろしくお願い致します。

○退職（敬称略・順不同）
原田　明　副校長・全（退職）
二階堂光圀　保健体育・全（退職）
小林　実　G科・全（退職）
佐藤　建子　経営企画室（退職）

○転任（敬称略・順不同）
守屋　文俊　副校長・全（指導部高等学校教育指導課統括指導主事）
飯村　典子　英語・全（足立東高・全）
鈴木　貴栄　D科・全（小金井工業高・定・副校長）
田中あゆみ　養護・全（橘高・全）
草　淳子　国語・定（荻窪高・定）
宮崎　友貴　英語・定（工芸・定）
塙　典子　A科・定（橘高・全）
赤池　知足　M科・定（総合工科高・全）
柴田有歌理　I科・定（足立高・全）
佐々木良子　経営企画室（八潮高経営企画室長）

○就任（敬称略・順不同）
奥澤　稔　副校長・全（墨田工業高・全）
伊藤　俊介　保健体育・全（大田桜台高）
中村　勇治　英語・全（向丘高）
久保　遊　G科・全（新規採用）
尾引　亮太　D科・全（橘高・定）
坂本　賀代　養護・全（狛江高）
鈴木千恵子　国語・定（東久留米総合高・全）
宮崎　友貴　英語・定（新規採用）
有村　徹　A科・定（新規採用）
倉田　直人　M科・定（墨田特別支援学校）
藤原　史織　I科・定（新規採用）
打道　隆　経営企画室（総務局）
守屋　誠一　学校経営補佐（総合工科高・全）

母校の入学式は、4月8日㈫10時から東京都教職員研修センター視聴覚ホールにおいて行われました。

●卒展2014

2014年3月2・4・5日、東京都美術館（上野公園内）において、「卒展2014」が開催されました。

A科・M科・I科・G科・D科とも3年間の勉強の成果が発揮された見事な作品が来場者の目を引きつけました。

同窓会の細江会長、桜井新会長、PTAの村山会長も熱心に見学されていました。

初日の2日は雨天にもかかわらず、約1500人の来場者があり、3日間では3000人近い来場者で賑わいました。

卒展会場受付
右端はG科・小林先生

DMイラスト：
D科・伊藤彩歌

A科・上島珠恵さんの作品

I科・勝部綾子さんの
作品に座るお母様

熱心に見学される
PTA・村山会長

たくさんの来場者で賑わう
展示会場

都立工芸高校内　築地工芸会・文京区本郷一―三―九　電話〇三（三八一四）八七五五呼
発行者　桜井洋一　印刷所　大東印刷工業株式会社